

# 第2回 ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会



平成29年2月28日



# ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会の概要

## 【ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会の目的】

「ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会」（以下、「検討委員会」とする。）は、ガーデンふ頭に対する諸要請と、今後果たすべき役割等を踏まえ、長期的視野に立ったガーデンふ頭のあり方を検討し、ガーデンふ頭再開発基本計画の策定に関する助言、提案を行うことを目的とする。

## 【ガーデンふ頭再開発基本計画について】

「ガーデンふ頭再開発基本計画」（以下、「基本計画」とする。）は、当地区の開発に関する方針等を定めるもので、民間事業者の活力やノウハウをいかながら、再開発を計画的に取り組むための指針として活用するものである。なお、今後、ガーデンふ頭を取り巻く環境や社会経済情勢の変化を勘案し、必要に応じて計画内容を見直す等柔軟に対応していく。

### ■ 基本計画の基本構成

#### 第1章 取り巻く環境及び現況分析

- ・基本計画策定の背景
- ・ガーデンふ頭を取り巻く状況
- ・ガーデンふ頭の現況分析

#### 第2章 将来像及び基本方針

- ・目指す将来像
- ・基本方針
- ・機能配置の考え方

#### 第3章 再開発実現に向けて

- ・事業手法
- ・今後の進め方・取り組み

### ■ 検討委員会のスケジュール

#### 第1回 検討委員会（2016.12.18）

- 基本計画策定の背景
- 取り巻く環境
- 将来像と基本方針

#### 第2回 検討委員会（2017.2.28）

- 目指す将来像
- 基本方針
- 機能配置の考え方

#### 第3回 検討委員会（2017.5）

- 再開発実現に向けて
- パブリックコメント資料

#### 第4回 検討委員会（2017.8）

- 基本計画取りまとめ

# **1. 検討委員会での主な意見と対応**

**1-1 第1回検討委員会の主な意見と対応**

**1-2 現況分析とガーデンふ頭の役割**

# **2. 目指す将来像**

**2-1 目指す将来像の考え方**

**2-2 目指す将来像**

# **3. 基本方針**

**3-1 基本方針の考え方**

**3-2 基本方針**

# **4. 機能配置の考え方**

**4-1 機能配置の考え方**



# 1-1 第1回検討委員会の主な意見と対応

## ■名古屋港水族館のさらなる機能強化について

- もっと独自性を前面に出し、**広く情報発信する**など、**集客力アップ**を図るべきである。  
⇒**目指す将来像及び基本方針に反映**
- 動線の分かりやすさ、外国人対応など、来訪者に対する**ホスピタリティの向上**が必要である。  
⇒**基本方針に反映**

## ■滞在時間を延ばす施策について

- 名古屋港水族館以外にも**目的型コンテンツの集積が必要**である。  
⇒**目指す将来像及び基本方針に反映**
- 今後はシニア層・女性など**ターゲットを広げていく必要**がある。  
⇒**基本方針に反映**
- 可処分所得の減少に伴い、**物販に使われる費用が減ってきている**ことをSWOT分析に加えるべきである。  
⇒**現況分析に反映**



# 1-1 第1回検討委員会の主な意見と対応

## ■ガーデンふ頭全体の統一感について

- ガーデンふ頭の**施設毎の連携が不足している**ことをSWOT分析に加えるべきである。  
⇒**現況分析に反映**
- 再開発するこの機会を捉えて、計画力の優れた専門家に依頼し、**ふ頭全体のマスタープランを作成して、各施設をコーディネート**させてはどうか。  
⇒**第3回検討委員会で検討**
- にぎわいを創出するためには、**民間が投資しやすい環境を整える**べきである。  
⇒**第3回検討委員会で検討**

## ■その他

- 金城ふ頭など、周辺のにぎわい拠点との連携が重要である。  
⇒**基本方針に反映**
- ガーデンふ頭のような臨海部は防災に対する配慮が重要である。  
⇒**基本方針に反映**
- ふ頭名、施設名、駅名を共通の呼称に統一すると知名度が向上するのではないか。  
⇒**第3回検討委員会で検討**



# 1-2 現況分析とガーデンふ頭の役割

## 強み

- ①水族館は中部圏屈指の集客力
- ②名古屋都心から至便
- ③海と緑が一体となった景観
- ④広大な土地の活用ポテンシャル
- ⑤近隣においてまちづくり活動が活発

## 機会

- ①リニア・水上交通など広域交通条件の向上
- ②アジア競技大会等の開催
- ③クルーズ船寄港の増加
- ④外国人旅行者の増大
- ⑤新たな観光需要の発生

## 弱み

- ①集客機能と業務機能等が混在
- ②海・旅客船への視認性がよくない
- ③既存施設の老朽化・陳腐化
- ④各施設がバラバラで統一感がない

## 脅威

- ①近隣の大規模集客施設の開発による来訪者減の懸念
- ②津波・高潮等による自然災害
- ③人口減少社会における交流人口の減少
- ④物販関連の支出が減少

## ■ガーデンふ頭の役割

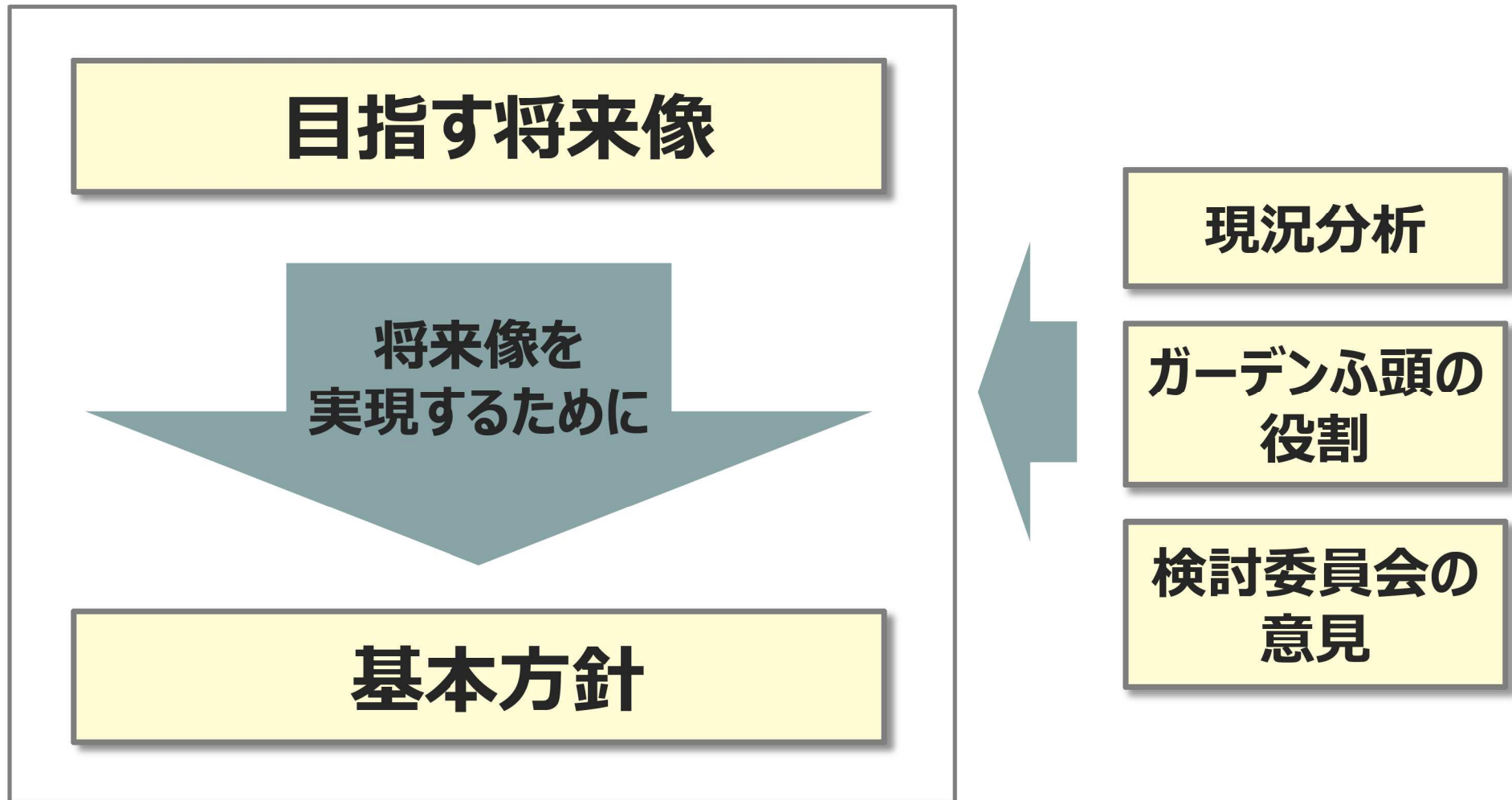
**金城ふ頭など近隣のにぎわい拠点との比較や連携の重要性から、以下のような役割を担う。**

- 海と緑といった景観を活かして、“みなと”が体感できる場を提供
- 憩いと癒しの場を提供する非日常空間
- 愛知県・名古屋市の観光戦略の施策に貢献



## 2-1 目指す将来像の考え方

現況分析、ガーデンふ頭の役割や検討委員会での意見などを踏まえ、「目指す将来像」を定め、人々が行きかい親しまれるガーデンふ頭を目指す。





## 2-2 目指す将来像

### 第1回検討委員会意見

名古屋港水族館の更なる強化、集客力向上を図るべき

### ガーデンふ頭再開発の狙い

- ・名古屋港水族館の来訪者に対して**もっと楽しんでもらいたい。**
- ・イベント開催など新たなにぎわい機能を導入することによって、水族館以外の目的でも多くの人に来てもらい、**集客数を上げたい。**
- ・水族館などにぎわい施設の来訪者に**名古屋港の役割を知ってもらいたい。**

### 目指す将来像 コンセプト1

#### みんなが楽しめるにぎわい空間の形成

名古屋港水族館をはじめとするガーデンふ頭により多くの人々に来てもらい、来訪者が港を体感し、満足してもらうことを目指す。







## 2-2 目指す将来像

### 第1回検討委員会意見

滞在時間を延ばす施策、目的型コンテンツの集積が必要

### ガーデンふ頭再開発の狙い

- ・ガーデンふ頭中央部は閑散としており、あまり利用されていない感があるが、一方、すでに**落ち着いた静かな空間が確保されている**ということを活かしていきたい。
- ・“ガーデンふ頭”という名称にふさわしい**海・港が感じられる魅力的な空間**を提供したい。
- ・**滞在時間を延ばす機能を導入**することで、人々が長い時間楽しめ、くつろげる空間としたい。

### 目指す将来像 コンセプト2

#### ゆったりと過ごせるくつろぎ空間の形成

県民・市民、地域の人々が憩い、くつろげる“ガーデンふ頭”の実現を目指す。





## 3-1 基本方針の考え方

基本方針については、港特有の景観や防災への配慮を前提としつつ、名古屋港水族館の存在など大きな強みや港の解放された空間を活かしながら、次のとおり定める。

目指す将来像

コンセプト1

みんなが楽しめる  
にぎわい空間の形成

コンセプト2

ゆったりと過ごせる  
くつろぎ空間の形成

基本方針

I. 多くの人々を呼び込む  
にぎわいの創出

II. 人々が長くふ頭に滞在  
できるくつろぎの場の提供



## 3-2 基本方針

### I. 多くの人々を呼び込むにぎわいの創出

名古屋港水族館を中心に集客力の向上を図る。

- 更なる集客力向上に向け名古屋港水族館など**海洋文化機能の強化**とあわせ、**飲食物販機能の拡充**や**情報発信力・ホスピタリティの向上**など、来訪者へのサービス強化を図る。
- クルーズ船に対する利便性向上や水上バス発着機能の強化など、**にぎわいに資する港湾機能を強化**し、周辺のにぎわい施設と連携。
- 新たな集客機能の導入**のほか、民間活力を積極的に導入するための**規制緩和**などについても検討を進める。

新たな導入機能のイメージ例・・・イベント機能、体験型観光機能など

考えられる指標として  
集客力、イベント数、売上高 などが考えられる。



## 3-2 基本方針

### Ⅱ.人々が長くふ頭に滞在できるくつろぎの場の提供

港が一望できる広大なオープンスペースの活用により  
来訪者の滞在時間の延長を図る。

- 落ち着いた空間を創出するため、**緑地・広場機能の向上**を図る。
- ガーデンふ頭での**滞在時間を増やすような新たな機能の導入**や民間活力を積極的に導入するための**規制緩和**などについても検討を進める。

新たな導入機能のイメージ例・・・飲食機能、温浴機能、宿泊機能、  
スポーツ関連機能など

考えられる指標として  
滞在時間、利用者満足度 などが考えられる。



## 4-1 機能配置の考え方

基本方針Ⅰを踏まえた  
集客力を向上する  
**「にぎわいゾーン」**

- 集客力向上を目的として、海洋文化機能、飲食物販機能、イベント機能、体験型観光機能等を配置
- 既存の船だまりについては、にぎわい機能の導入が可能な水域へと転換

基本方針Ⅱを踏まえた  
滞在時間を延長する  
**「くつろぎゾーン」**

- 滞在時間を延長する機能として、緑地・広場機能、温浴機能、宿泊機能、スポーツ関連機能等を配置

### その他

- 「にぎわい」「くつろぎ」両ゾーンが重なるエリアには2つのコンセプトを併せ持つ飲食機能等を配置
- クルーズ船対応機能は、現在の位置に配置
- 港湾業務機能・船だまり・駐車場機能は、2つのエリアを有効に活用するため、ふ頭外周や他地区へ移転